

ラグビーワールドカップ2019™ 開幕2年前イベント 「ラグビー世界一決定戦」まであと2年

ラグビーワールドカップは、4年に1度開催される「ラグビー世界一決定戦」で、オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ世界三大スポーツイベントです。2019年の日本大会は、全国12都市で開催され、神戸市では御崎公園球技場(ノエビアスタジアム神戸)が会場の一つとして選ばれています。

いよいよラグビーワールドカップ2019の開幕まであと2年となります。9月18日(月・祝)には、ゲストによるトークショーやラグビー体験を楽しめる、開幕2年前イベントを開催します。元日本代表選手などのゲストがワールドカップへの意気込みや見所を語るトークショーや、ラグビーの醍醐味である「トライ」の体験など、ラグビーを知り、親しむことができるイベントです。2年後、神戸で開催される熱い戦いに向けて、会場で一緒に盛り上がりましょう!

場所 神戸ハーバーランドスペースシアター
(神戸市中央区東川崎町1-3-3 神戸ハーバーランドセンタービル地下1階)
日時 9月18日(月・祝)14:00~17:00頃 **MC** ターザン山下
参加費 無料 **ゲスト** 元日本代表 大西将太郎 氏、他

イベントの内容など詳しくはHPへ。 [2019神戸](#)
お問い合わせ先/スポーツ体育課国際スポーツ室 TEL.321-1862



▲ダイビングトライにチャレンジ!



▲会場で一緒に盛り上がりましょう!

神戸国際スポーツフェスタ

同日同会場で、11:30より、2020年の東京パラリンピック出場を目指す、車いすバドミントンの村山選手と福家選手による実演や体験会など、競技の魅力や楽しさを知ることができるイベントを開催します。選手と触れ合う貴重な機会ですので、是非会場へお越しください!

お問い合わせ先/スポーツ体育課国際スポーツ室 TEL.322-6384

青少年科学館 プラネタリウムイベント
「チェリーくんと行く、星めぐりの旅」

「音を愉しむ・リズムを愉しむ・お話を愉しむ」ことをモチーフに、手作り楽器や影絵を使った語りで関西地方を中心に活動中のチェリーくんが、家族そろって楽しめるプラネタリウムイベントを開催します。



夜空には、フシギとワクワクとちよっぴりヘンテコが詰まっている!チェリーくんと話して歌って遊びながら、楽しく星さがしをしましょう!

場所 バンドー神戸青少年科学館 1階プラネタリウムシアター
日時 10月22日(日)10:00~10:50(受付開始・開場9:30~)
対象 どなたでも
定員 先着200名 ※全席自由席
参加費 600円

※3歳未満は膝上無料、ただしお席が必要な場合は有料。
(のびのびパスポートや各種手帳は使えません)
※展示室を見学する場合は、別途入館料が必要になります。
申込方法 9月21日(木)10:00~電話申込みスタート

お問い合わせ先/バンドー神戸青少年科学館 TEL.302-5177

特別展 萩尾望都SF原画展
宇宙にあそび、異世界にはばたく

1969年に『ルルとミミ』でデビュー以降、『ポーの一族』や『トーマの心臓』など不朽の名作を生み、幅広いジャンルを手掛けてきた萩尾望都。

本展覧会では、日本の少女漫画史におけるSFの黎明期を担った萩尾望都のカラーイラストレーション、コミック生原稿など、約400点のSF原画が大集合。惑星に魅入られた奇跡の漫画家・萩尾望都が描きだした星々が煌く、夢の展示空間が実現します!



「スター・レッド」©萩尾望都/小学館

場所 神戸ゆかりの美術館
会期 9月9日(土)~11月5日(日)
開館時間 10:00~17:00 ※入館は閉館の30分前まで
休館日 月曜日(ただし9月18日、10月9日は開館)、9月19日(火)、10月10日(火)
入館料 一般900円、大学生700円、高校生500円、小中生350円

お問い合わせ先/神戸ゆかりの美術館 TEL.858-1520

教育委員会に関するご意見・ご感想がございましたら、
お問い合わせフォーム(教育委員会だよりの公開ホームページ下部)
またはFAX(078-322-6145)によりご連絡ください。

神戸市教育委員会だよりの公開HPは [神戸市教委だよ](#)

神戸市 教育委員会だよ

平成29(2017)年9月発行

発行
教育委員会事務局
総務課
322-5761

教えて!学校・地域の声を!! ~神戸スクール・ミーティング~

「神戸スクール・ミーティング」(平成17年度~)では、教育長や教育委員が各学校園を訪問し、よりよい神戸の教育を目指し、各学校園の現状や課題などについて、校長や保護者・地域の方々と、意見交換を行っています。

今回は、1学期に訪問した、御蔵小学校・工業高等専門学校・山田小学校をご紹介します。

~各校の特色ある教育活動の紹介~

【第92回 御蔵小学校(7月6日)】

- 「えがお」を大切に子供たちへの教育・指導にあたっている
- 子供たちが「できる」「わかる」を実感できるように、1日2回「パワーアップタイム」「御蔵タイム」で基礎学力の定着を図っている

【第93回 工業高等専門学校(7月7日)】

- 学年進行とともに専門科目が増えるようにカリキュラムを組みながら、実習・実験も重視し、実践的な技術を身に付ける
- 航空宇宙・医療福祉・ロボット分野における技術者の育成を推進するため、成長産業技術者教育プログラムを実施

【第94回 山田小学校(7月19日)】

- 「脳みそが汗をかく」をキーワードに、少人数での問題解決学習を推進
- 放課後の子供の居場所づくり「やまだのびのびひろば」の充実した活動のほか、お祭り等の地域行事も多く、地域全体で学校を見守っていただいている



お問い合わせ先/総務課企画調査係 TEL.322-6993 [神戸スクール・ミーティング](#)

中学生・市長・有識者が徹底議論! ~神戸市スマホフォーラム開催~

スマートフォン(以下、スマホ)との上手な付き合い方が求められている中、全国で初めて、“スマホ世代”の中学生が主体となり市長や有識者と議論を行う場として、8月27日に神戸市スマホフォーラムが開催されました。中学生が作成し実施したアンケートの結果等を元に熱い議論が繰り広げられ、便利なスマホをうまく使うことで、“安心安全なスマホ利用の街にしたい”という想いが込められているキャッチコピーが発表されました。

お問い合わせ先/学校教育課学校指導係(人権・国際教育担当) TEL.322-5813

スマートスマホ都市KOBE

顔を見ないことは心を見ないこと
STOP! 危険へのSTEP!
時は金なり ~スマホだけに時間を使っている~



確かな学力と豊かな人間性を育み
「教育日本一のまち神戸」を目指します

海外の高校生と英語で意見交換！ ～第2回KOBE 四大陸高校生サミット at Fukiai開催(葦合高校)～

文部科学省が推進する「スーパーグローバルハイスクール」(以下、SGH)事業の指定を受けている葦合高等学校では、SGH事業の取組として、国際科(各学年2クラス、合計6クラス)の生徒を対象に世界の共生のために自分たちがなすべきことについて人権・環境・経済の3つの視点から学習しています。

昨年度に引き続き、学習成果の総まとめとして7月13日・14日に「第2回 KOBE 四大陸高

校生サミット at Fukiai」を開催しました。海外(スウェーデン・オーストラリア・アメリカ・台湾・フィリピン)の姉妹校・連携校より参加の10名と共に、「持続可能な発展と地球市民のための教育」という共通テーマの下、「教育」「健康」「環境」「公正」「自然災害」の5つのトピックに関して、各分科会において①問題点、②解決法、③提案について英語で直接議論し、解決に向けての共同宣言をまとめ、今後なすべきことについて認識を共有しました。



▲2・3年生による
ポスタープレゼンテーション



▲分科会での討議



▲全体会での「共同宣言」発表

お問い合わせ先/学校教育課学校指導係(学校運営支援担当) TEL.322-6447

子供を取り巻くスマホ・ネット環境を考える
～市長と教育委員会による総合教育会議～

「子供を取り巻くスマホ・ネット環境について」という議題で7月14日に市長と教育委員会が話し合いました。急速にネット社会が進む中で、インターネット利用者が低年齢化し、日常生活への様々な影響が改めて危惧されました。子供がネットに関する知識を吸収するスピードは著しく速いため、教育委員会としても現状や課題を把握しつつ、各学校園において啓発活動やルールづくりを進めるなど、継続的に取り組んでいきます。



▲有識者会議の報告をふまえて議論

お問い合わせ先/総務課調整係 TEL.322-6999

神戸の教育を考える
～第14回KOBE教育フォーラム開催～

神戸新聞松方ホールでの全体会では、真野小学校でのICT活用の取組発表の後、日本人初の宇宙飛行士である秋山豊寛氏に講演をしていただきました。「宇宙から気づいた地上での学び」をテーマに、宇宙飛行士の訓練や宇宙での活動のほか、今従事しておられる農業まで多岐にわたる内容でした。ICT機器が発達した現代においても、人として失ってはいけない感覚や力があることを教えていただきました。

午後は、総合教育センターに場所を移し、6分科会に分かれて各校の実践発表やグループ討議等、活発な意見交換が行われました。



▲宇宙について語る秋山氏(8月17日)

お問い合わせ先/総務課企画調査係 TEL.322-6993

こうべの学校訪ね歩き

このコーナーでは、市内の学校園で地域や保護者の方に見守られながらいきいきとすごしている子供たちの様子を取り上げています

本多間小学校 ～教育目標「明るく やさしく たくましく」～

本多間小学校は垂水区ニュータウンにある児童数226名の学校です。開校当時、周辺に群生していた「やまゆり」を学校のシンボルにしています。

やまゆりの伝統でしょうか、本校のPTA活動の中に「お花クラブ」という活動があります。敷地内にある花壇やプランターを保護者の方々が手入れしてくださっています。花壇には、季節替わりで花が植えられています。通学する子供たちも「またプランターの花が変わったね」と楽しみにしています。なだらかに続く上り坂を歩いて登校する子供たちを美しい花が出迎えてくれているかのようです。

今年度から、毎週木曜日に「がんばるもん教室」として、放課後学習が始まりました。指導者を地域から招いて、算数や言葉の学習に取り組みははじめました。ぐんぐん力をつけています。

今年は創立40周年という節目の年を迎え、子供たちは運動会などの行事や日々の生活に「40」を意識して取り組んでいます。また、1学期は特に、教育目標の「明るく」を大切に「元気のいい」「相手の目を見た」あいさつをしようと頑張りました。2学期は「やさしく」に注目して、「友達に対してやさしく温かい言葉かけ」を学校中に広めていきます。



▲「お花クラブ」が
世話している色とりどりの花



▲本年度からスタート
「がんばるもん教室」2・3年生



▲運動会で使った40周年 祝い旗

白川台中学校 ～「誰かのために」ボランティア活動と地域交流～

白川台中学校の伝統の一つに、ボランティア活動があります。地域行事や校区内の清掃などに多くの生徒が自主的にボランティアとして参加しています。

平成16年の新潟県中越地震の際に募金活動と被災地との交流を行い、それ以来毎年、自然災害からの復興支援募金や被災地交流を行っています。先の九州北部豪雨では、3年生が5月の修学旅行の民泊でお世話になった福岡県朝倉地区に甚大な被害が出たため、支援の募金と激励の手紙を送りました。これからも「誰かのために」を合言葉

に自分たちにできる社会貢献を考えていきたいと思えます。

もう一つの伝統は、地域交流です。神戸っ子応援団の活動の一環として地域の方にゲストティーチャーをお願いしたり、行事の運営をボランティアとして支えていただいたりしています。応援団の皆さんは「みんなで笑顔になれる街へ」と書かれた、そろいのポロシャツで活動され、いつも優しく接して下さいます。多くの方の支えに感謝しつつ、地域の一員としての誇りを持って、ともに歩んでいきたいと思えます。



▲九州豪雨支援募金の様子



▲地域とともに学ぶ(命の感動体験)



▲地域の方を先生に迎えて(家庭科:裁縫)